

2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年2月10日

上場会社名 株式会社エーワン精密 上場取引所 東  
 コード番号 6156 URL <https://www.a-one-seimitsu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 哲也  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 哲也 (TEL) 042-363-1039  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第2四半期の業績 (2022年7月1日~2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	895	△4.7	173	△30.9	175	△32.1	119	△32.7
2022年6月期第2四半期	939	26.1	251	74.9	258	73.2	177	72.9
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年6月期第2四半期	23.93		—					
2022年6月期第2四半期	37.02		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	9,100	8,336	91.6
2022年6月期	9,479	8,688	91.7

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 8,336百万円 2022年6月期 8,688百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2023年6月期	—	0.00	—	—	—
2023年6月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の業績予想 (2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,780	△4.7	302	△30.3	306	△31.2	214	△31.1	42.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年6月期2Q	6,000,000株	2022年6月期	6,000,000株
2023年6月期2Q	992,460株	2022年6月期	988,460株
2023年6月期2Q	5,007,757株	2022年6月期2Q	4,807,714株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な金利上昇を受け景気減速傾向となり、頭打ちから緩やかに縮小へと向かいました。

先端半導体調達をめぐる米中の関係悪化、ロシアのウクライナ侵攻によるロシアと欧米はじめ先進国との対立などにより、エネルギー、穀物価格の上昇、新型コロナウイルスの蔓延による生産活動休止による部品不足、人や物の流れが滞るなど世界経済に影響が出ました。また高インフレ抑制のための金利上昇など世界の景気は減速傾向となりました。

国内製造業では一部コア部品の欠品で自動車の生産が調整を余儀なくされ、スマートフォン、パソコン、テレビなどの受注減少により半導体メモリなどは、在庫が積み上がり調整局面となっています。一方で自動運転システムや機械設備のデータ連携、環境対応インフラなど先端半導体を必要とする分野では堅調を維持しています。他にも医療や食品業界など比較的安定している業界もありますが、国内企業物価指数は大きく上昇し、消費者物価指数も上昇傾向であり、国内消費活動を圧迫してきており、海外の景気後退懸念も重なり企業の生産活動は低迷してきています。

コレットチェック部門では、昨年の8、9月はやや減少し、10月に受注は増加しましたが、年末にかけてまた緩やかな減少傾向となりました。自動車の生産が部品不足の影響で予定生産量に戻らず減産となったこと、半導体メモリなどが需要減退し生産調整が入ったことなどで国内製造業の量産部品加工が減少し、当社のコレットチェックの受注も緩やかに減少しました。

この結果、当セグメントの第2四半期累計期間の売上高は615,078千円（前年同期比6.7%減）、セグメント利益は271,848千円（前年同期比15.7%減）となりました。

切削工具部門では、8月大手企業の夏季休業などの影響でやや低調となりましたが、9月は顧客企業の設備機械の稼働率が高まり、その後は年末にかけて量産部品が緩やかに減少し当セグメントの受注も横ばいとなりました。

別注切削工具の製作・再研磨は、生産効率化・コストダウンのニーズがあり一定の受注が入り、堅調に推移しました。売上高は77,088千円（前年同期比5.5%増）となりました。

市販切削工具の再研磨は、量産部品加工に使用される工具が多く、顧客企業の設備機械稼働率の低下の影響を受けて受注は横ばいとなり、売上高は195,266千円（前年同期比0.8%減）となりました。

この結果、当セグメントの第2四半期累計期間の売上高は272,354千円（前年同期比0.9%増）、セグメント利益は44,923千円（前年同期比36.7%減）となりました。

自動旋盤用カム部門では、カム式自動旋盤で加工する量産部品が減少し、受注は少なくなり減収・減益となりました。

この結果、当セグメントの第2四半期累計期間の売上高は8,117千円（前年同期比21.6%減）、セグメント利益は1,364千円（前年同期比51.0%減）となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は895,550千円（前年同期比4.7%減）、営業利益は173,926千円（前年同期比30.9%減）、経常利益は175,313千円（前年同期比32.1%減）、四半期純利益は119,826千円（前年同期比32.7%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、7,411,178千円(前事業年度末は7,719,717千円)となり308,539千円の減少となりました。これは、仕掛品が10,283千円、原材料が4,869千円増加しましたが、現金及び預金が298,243千円、受取手形及び売掛金が22,980千円、前払費用が1,833千円減少したこと等によるものであります。

また、当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,689,742千円(前事業年度末は1,759,767千円)となり70,025千円の減少となりました。これは、投資有価証券が41,089千円、繰延税金資産が2,665千円増加しましたが、長期前払費用が50,578千円、機械装置及び運搬具が46,413千円、建物及び構築物が15,181千円減少したこと等によるものであります。

この結果、当第2四半期会計期間末における総資産は、9,100,920千円(前事業年度末は9,479,485千円)となりました。

### (負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、229,971千円(前事業年度末は265,490千円)となり35,519千円の減少となりました。これは、その他が17,338千円増加しましたが、未払法人税等が37,067千円、役員賞与引当金が6,580千円、未払金が6,187千円、買掛金が3,022千円減少したことによるものであります。

また、当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、534,600千円(前事業年度末は525,040千円)となり9,560千円の増加となりました。これは、役員退職慰労引当金が6,580千円減少しましたが、退職給付引当金が12,439千円、その他が3,700千円増加したことによるものであります。

この結果、当第2四半期会計期間末における負債合計は、764,572千円(前事業年度末は790,531千円)となりました。

### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、8,336,348千円(前事業年度末は8,688,953千円)となり352,605千円の減少となりました。これは、その他有価証券評価差額金が28,721千円増加しましたが、利益剰余金が381,327千円減少したことによるものであります。

### (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度と比べ298,274千円減少し、829,273千円となりました。なお、当第2四半期累計期間末におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間末における営業活動によるキャッシュ・フローは、217,615千円の増加(前年同四半期は323,892千円の増加)となりました。これは、法人税等の支払額が105,837千円、棚卸資産の増減額が14,348千円、未払金の増減額が7,322千円、役員賞与引当金の増減額が6,580千円、役員退職慰労引当金の増減額が6,580千円ありましたが、税引前四半期純利益が175,313千円、減価償却費が78,588千円、株式報酬費用が52,094千円、売上債権の増減額が22,980千円、その他が15,589千円、退職給付引当金の増減額が12,439千円あったこと等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間末における投資活動によるキャッシュ・フローは、14,747千円の減少(前年同四半期は76,680千円の減少)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出が14,825千円あったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間末における財務活動によるキャッシュ・フローは、501,142千円減少(前年同四半期は335,666千円の減少)となりました。これは、配当金の支払額が500,690千円、リース債務の返済による支出が452千円あったことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、当第2四半期累計期間の状況を踏まえて、2023年1月31日に業績予想の修正に関するお知らせを公表いたしました。詳細につきましては、「2023年6月期・第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,965,864	6,667,620
受取手形及び売掛金	386,287	363,306
製品	3,428	2,624
原材料	31,906	36,776
仕掛品	233,739	244,022
前払費用	97,716	95,883
その他	933	988
貸倒引当金	△158	△44
流動資産合計	7,719,717	7,411,178
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	442,625	427,444
機械装置及び運搬具(純額)	496,636	450,223
土地	333,534	333,534
その他(純額)	11,117	10,071
有形固定資産合計	1,283,914	1,221,274
無形固定資産	3,850	3,398
投資その他の資産		
投資有価証券	145,388	186,477
長期前払費用	138,745	88,166
繰延税金資産	187,529	190,195
その他	879	771
貸倒引当金	△540	△540
投資その他の資産合計	472,002	465,070
固定資産合計	1,759,767	1,689,742
資産合計	9,479,485	9,100,920
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	18,589	15,567
未払金	89,866	83,678
未払法人税等	115,450	78,383
役員賞与引当金	10,700	4,120
その他	30,884	48,223
流動負債合計	265,490	229,971
固定負債		
退職給付引当金	376,525	388,964
役員退職慰労引当金	139,540	132,960
その他	8,975	12,676
固定負債合計	525,040	534,600
負債合計	790,531	764,572

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	292,500	292,500
資本剰余金	481,250	481,250
利益剰余金	8,567,962	8,186,635
自己株式	△692,283	△692,283
株主資本合計	8,649,428	8,268,101
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	39,525	68,246
評価・換算差額等合計	39,525	68,246
純資産合計	8,688,953	8,336,348
負債純資産合計	9,479,485	9,100,920

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年7月1日 至2021年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)
売上高	939,563	895,550
売上原価	547,067	581,706
売上総利益	392,495	313,843
販売費及び一般管理費	140,843	139,917
営業利益	251,652	173,926
営業外収益		
受取利息	93	93
受取配当金	3,429	3,834
売電収入	1,678	364
貸倒引当金戻入額	8	110
作業くず売却益	994	818
その他	298	595
営業外収益合計	6,502	5,817
営業外費用		
株式報酬費用消滅損	—	4,430
営業外費用合計	—	4,430
経常利益	258,154	175,313
特別損失		
固定資産除却損	574	0
特別損失合計	574	0
税引前四半期純利益	257,580	175,313
法人税、住民税及び事業税	86,060	70,520
法人税等調整額	△6,448	△15,033
法人税等合計	79,612	55,487
四半期純利益	177,968	119,826



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	257,580	175,313
減価償却費	73,761	78,588
長期前払費用償却額	39	40
株式報酬費用	2,101	52,094
有形固定資産除却損	574	0
株式報酬費用消滅損	—	4,430
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△161	△114
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,170	△6,580
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	14,919	12,439
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,380	△6,580
受取利息及び受取配当金	△3,522	△3,928
売上債権の増減額 (△は増加)	5,757	22,980
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,279	△14,348
仕入債務の増減額 (△は減少)	592	△3,022
未払金の増減額 (△は減少)	△1,333	△7,322
その他	22,068	15,589
小計	372,868	319,580
利息及び配当金の受取額	3,467	3,873
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△52,443	△105,837
営業活動によるキャッシュ・フロー	323,892	217,615
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△30	△30
有形固定資産の取得による支出	△76,758	△14,825
その他	108	108
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76,680	△14,747
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△58	—
配当金の支払額	△335,156	△500,690
リース債務の返済による支出	△452	△452
財務活動によるキャッシュ・フロー	△335,666	△501,142
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△88,453	△298,274
現金及び現金同等物の期首残高	1,043,113	1,127,547
現金及び現金同等物の四半期末残高	954,659	829,273

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「時価の算定に関する会計基準の適用指針」の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる四半期財務諸表に与える影響はありません。

(四半期損益計算書関係)

譲渡制限付株式報酬の付与対象者の退職に伴い、譲渡制限付株式割当契約に基づき割り当てた当社普通株式4,000株の全てを当社が無償取得したことにより、前払費用及び長期前払費用として計上していた、該当事項契約期間の未経過分を株式報酬費用消滅損で営業外費用として計上しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I. 前第2四半期累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	659,215	269,996	10,351	939,563	—	939,563
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	659,215	269,996	10,351	939,563	—	939,563
セグメント利益	322,653	70,928	2,786	396,368	△144,716	251,652

(注)1 セグメント利益の調整額は、製造部門共通費 △3,872千円と主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

- 2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II. 当第2四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	615,078	272,354	8,117	895,550	—	895,550
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	615,078	272,354	8,117	895,550	—	895,550
セグメント利益	271,848	44,923	1,364	318,136	△144,209	173,926

(注)1 セグメント利益の調整額は、製造部門共通費△4,292千円と主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

- 2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	コレット チャック部門	切削工具部門			自動旋盤用 カム部門	
		別注切削工具の 製作・再研磨	市販切削工具 の再研磨	小計		
工具製作	659,215	73,084	—	73,084	10,351	742,650
その他	—	—	196,912	196,912	—	196,912
顧客との契約から生じる 収益	659,215	73,084	196,912	269,996	10,351	939,563
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	659,215	73,084	196,912	269,996	10,351	939,563

当第2四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	コレット チャック部門	切削工具部門			自動旋盤用 カム部門	
		別注切削工具の 製作・再研磨	市販切削工具 の再研磨	小計		
工具製作	615,078	77,088	—	77,088	8,117	700,284
その他	—	—	195,266	195,266	—	195,266
顧客との契約から生じる 収益	615,078	77,088	195,266	272,354	8,117	895,550
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	615,078	77,088	195,266	272,354	8,117	895,550